再評価結果（平成２１年度事業継続箇所）

担　当　課：道路局国道・防災課
担当課長名：深澤　淳志

事業名	一般国道２７５号　蕨（わらびたい）岱拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道江別市篠津（ほっかいどうえべつしのつ） 至：北海道石狩郡当別町蕨（わらびたい）岱（ほっかいどういしかりとうべつ）			延長	３．３ km

事業概要

一般国道２７５号は、北海道の中核都市である札幌市を起点とし、当別町・月形町・浦臼町等を経由し、浜頓別町に至る総延長約２８２kmの幹線道路である。

当該事業は、江別市と当別町を結ぶ路線の交通混雑の緩和による物流の効率化及び道路交通の定時性、安全性の向上を目的とした延長３．３kmの４車線拡幅を行う二次改築事業である。

Ｈ元年度事業化	Ｈ一年度都市計画決定	Ｈ１１年度用地着手	Ｈ１２年度工事着手
全体事業費	約６８億円	事業進捗率	７５％
供用済延長	－ km		
計画交通量	１６，０００～２１，１００台／日		

費用便益分析結果	Ｂ／Ｃ	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体)　１．４ (残事業)　６．２	１７/７４億円 事　業　費：　15/72億円 維持管理費：1.9/1.9億円	１０４/１０４億円 走行時間短縮便益：　93/93億円 走行経費減少便益：6.8/ 6.8億円 交通事故減少便益：4.3 /4.3億円	平成２０年

感度分析の結果

残事業について感度分析を実施

交通量変動　：B/C=6.9（交通量+10%）　B/C=5.6（交通量-10%）
事業費変動　：B/C=5.7（事業費+10%）　B/C=6.9（事業費-10%）
事業期間変動：B/C=6.2（事業期間+0年）B/C=6.2（事業期間-0年）

事業の効果等

・円滑なモビリティの確保（現道等の渋滞損失時間（人・時間）及び削減率）
・物流効率化の支援（重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる）
他７項目に該当

関係する地方公共団体等の意見

当該道路の整備促進により、地域における住民生活の利便性の拡大や産業・観光振興など地域の活性化を促進し、道央圏における各都市・空港・港湾の拠点機能の強化が図られるため、６市１町１村の首長で構成される北海道石狩地方開発促進期成会より整備の要望を受けている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

・平成１４年度には当別バイパスが暫定２車線供用。
・当該道路周辺の港湾では、取扱貨物量が増加している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成元年度に事業化し、現在の事業進捗率は７５％となっている。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き事業事業が順調に進んだ場合、平成２０年代前半の供用を予定している。

施設の構造や工法の変更等

鋼コンクリート合成サンドイッチ床版の採用により、コスト縮減を図っている。

対応方針　事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。